

『ひとりぼっち』にしない杉並づくり まち

高齢者が10万人を超えた杉並。孤立、無縁社会など人間関係が希薄になり家族のあり方も変わってきている中、「おひとり様の老後」といったひとりでも快適に暮らすスタイルが提案されています。子どもと一定の距離を置いて暮らしたいという高齢者が増えている一方で、高齢者の孤独死や自殺も問題とされています。

「ひとり」はいいけれど「ひとりぼっち」は嫌ではないですか？人はひとりでは生きていけません。個人を尊重しながらみんなが暮らしやすい社会とはどのような社会でしょう。5人に1人は高齢者の杉並から考えてみませんか。

日時：12月13日（月）14：00～16：00

会場：座・高円寺2（地下2階・ホール）

講演『孤独死のないまちをめざして』

河合 克義さん（明治学院大学社会学部教授・東京都生協連理事）

河合克義さん プロフィール

明治学院大学社会学部長、副学長、学校法人明治学院大学理事を歴任。現在、明治学院大学社会学部教授、地域福祉論を専攻され、東京都生活協同組合連合会理事、福祉のまちづくり委員。

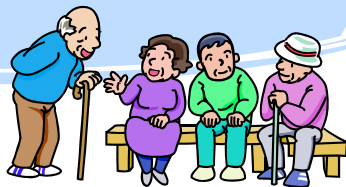
【主な調査研究】港区、中野区、葛飾区、横浜市鶴見区などで1人暮らしの高齢者の生活実態について調査報告を発表。

【著書】大都市のひとり暮らし高齢者と社会的孤立 他、多数

報告『杉並区の高齢者福祉の取り組みと課題』

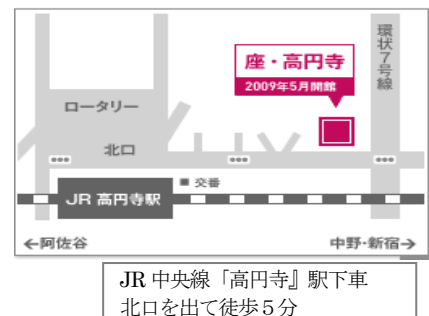
畦元 智恵子さん

（杉並区保健福祉部高齢者在宅支援課長）



- ▶参加費 無料
- ▶申込み 当日、直接会場へ
- ▶定員 200名(先着順)
- ▶連絡先 東京都生活協同組合連合会 TEL 3383-7800

主催：東京都生活協同組合連合会 福祉のまちづくり・杉並
後援：杉並区



生協（生活協同組合）が、地域で担う役割を明確にして、「自分らしく」安心して生活できる地域づくりのために、福祉事業・助け合い活動を通じて地域生協と医療生協が連携して福祉のまちづくりをすすめています。